

KINGCA WEEK 2023, Master Class 参加報告書

令和 5 年 10 月 4 日

国立がん研究センター中央病院

胃外科 がん専門修練医

石津賢一

この度、日本胃癌学会から KINGCA 参加助成をいただき、KINGCA WEEK 2023 および Master Class に参加することができました。以下、その報告をいたします。

Master Class

2023 年 9 月 11 日から 13 日の 3 日間、National cancer center, Korea (NCCK)の Center for Gastric Cancer で見学を行いました。NCCK はコヤン市というソウル市街から北西に約 15km 離れたベッドタウンに設立され、2000 年から開業しています（さいたま市東京駅間くらいの距離感）。研究所も併設されており、私の勤務地である国立がん研究センター中央病院（NCCH）と類似している点が多くありました。NCCK には 3 名の見学者がおり、オマーン・シンガポール出身の医師と同行しました。胃外科部門はスタッフ 4 人、フェロー 1 人、レジデント 1 人で構成され、年間 500 件程度、胃癌手術を行っていました。

NCKK 中心に行っている SENORITA 試験のことについて講義していただき、現在行っている SENORITA2-4 trial の実際の様子を見せていただきました。STOFOLUP trial についても簡単に教えていただきました。

カンファレンス

月曜日には、外科・内視鏡科・化学療法科・放射線科・病理診断科との合同カンファレンスにも参加いたしました。外科系術前・術後、内視鏡切除症例の術前・術後の症例について、議論しました。都心部の患者層に比べると、高齢者・併存症を持つ患者がおり、韓国の胃癌ガイドライン通り治療決定することが至適治療なのかどうか慎重に議論、検討している姿がとても印象的でした。コロナが落ち着きつつあり、カンファレンスを再開したのも今年に入ってからで、だんだんと活気が戻ってきた様子でした。

手術

手術は科により手術室が決まっており、毎日手術を申し込んでいました。患者は担当医性で外来担当した医師がそのまま手術担当しています。今回、見学した手術術式は、部長の Keun Won Ryu 先生が腹腔鏡下幽門側胃切除 3 件、腹腔鏡下胃全摘 1 件、Yoon Hong Man 先生による腹腔鏡下幽門側胃切除 2 件、腹腔鏡下胃楔状切除 + センチネルリンパ節含めた basin 郭清 1 件、見学いたしました。第一助手がフェローの先生、第二助手（スコピスト）が手術認定看護師、で構成

しており、外回り看護師、機械出し看護師、スコピストが概ね手術室で固定されており、手術はとてもスムーズに進んでいきました。今回、すべて術者はスタッフでしたが、通常は2件のうち1件はフェローが術者をしている、とのことでした。Ryu先生は手術の達人で様々なコツ・作法（Just A Habit!とおっしゃいながら）を惜しみなく披露してくださいました。同席したオマーンのSaid先生とシンガポールのChet先生は、進行がんく肥満手術がほとんどのため、こんな条件下の手術はめったにしていない、とお話ししていました。

病棟回診・病院

病棟回診も1日同席させていただきました。病室は、4人部屋を中心に回りましたが、NCCHよりも広く感じました。また、多くの患者さんが早朝から病院の外に術衣姿で散歩したり、家族とコミュニケーションを取ったりしている姿はかつての日本の病院では見られた光景でなつかしさを感じました。

KINGCA WEEK 2023 学会（ソウル）

今回、私は噴門側胃切除の残胃の癌について発表いたしました。NCCKのStaff Eom先生に質問いただき、興味を持っていただいたのが光栄でした。世界の胃癌治療について直に触れるよいきっかけになりました。国別、地域別、さらに個別化治療は進む一方で、世界標準の治療成績評価方法が必要とされていました。

それらの治療方法・評価方法についての研究はとても感銘を受けました。母集団が全然違う世界との共通点を探しだして、あらたな研究に結び付けることの重要性を感じました。その上で、コミュニケーションスキルである英語の重要性も再確認いたしました。

今回の経験を通して、今後も海外学会参加をしたいと思うようになりました。さらに自国の胃癌診療の歴史を世界の胃外科医に発信していく必要性も感じ、より一層日々の臨床に精進していきたいと思いました。

最後に、このような機会を与えていただきました日本胃癌学会の掛地吉弘理事長、国際委員会の竹内裕也委員長をはじめとした委員の皆様、この度は誠にありがとうございました。



NCC 正面玄関の早朝の様子、外にでて会話をしている一般の方々、屋内写真



手術室のスタッフルームにて、左から Said 先生（見学生）、Keun Won Ryu 部長、石津（著者）、Chet 先生（見学生）と手術室内の職員食堂の食事（辛い）



KINGCA WEEK 2023 会場にて、左から Chet 先生, Eom 先生（NCC Staff）, 石津（著者）, Pack 先生（NCC Fellow）, Yoon 先生（NCC Staff）